

令和8年「宇宙の日」記念行事 全国小・中学生 作文絵画コンテスト募集要項

主催： 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
公益財団法人日本宇宙少年団

作文・絵画テーマ：「宇宙宅配便 ～地球の想いを、宇宙の仲間へ届けよう～」
宇宙の普及活動を末永く行おうと、一般公募され、毛利衛宇宙飛行士がスペースシャトルで初めて宇宙へ飛び立った9月12日が「宇宙の日」に選定されました。これを記念して平成5年(1993年)から「宇宙の日」作文絵画コンテストを開催しています。

いま、日本では月や火星など「地球の外」でくらすことを目指した研究が進んでいます。JAXA や民間の会社では、宇宙ステーションに食べ物や実験の道具を運ぶ「補給船」をつくったり、将来は月に荷物をとどけるしくみを考えたりしています。宇宙で長くくらすためには、地球から物を運ぶだけでなく、宇宙で食べものを育てることも大切です。月や火星で野菜を育てる「宇宙菜園」の研究も進んでいます。植物は、食べものになるだけでなく、心をほっとさせてくれる大切な存在です。宇宙でくらす人が増えたら、食べ物や道具、手紙、エネルギー、そして種や育てるための道具など、地球からの「おとどけもの」はますます大事になります。あなたなら、どんな荷物を、どんな宇宙船でとどけたいですか？あなたなら、どんな植物を宇宙で育ててみたいですか？月や火星でのくらしを思いうかべながら、未来の「宇宙菜園」と、地球と宇宙をつなぐあなたの「宇宙おとどけミッション」をえがいてみましょう。

応募資格： 全国の小・中学校に在籍している児童・生徒

応募締切： 令和8年9月12日(土)必着

募集作品：

【作文の部】

題名は自由ですが、今年のテーマにそった内容として下さい。

手書き 400 字詰め原稿用紙 2 枚から 5 枚以内(日本語のみ)

※応募者本人が単独で執筆・作成したものに限り。

ただし、障がい等の理由により、応募者本人の執筆が困難な場合、代筆等の補助を可とするが、執筆内容への関与は不可とする。

なお、代筆等を行った場合は、応募時にその旨を応募用紙等に記載すること。

その際、パソコン等の電子機器による作成も例外的に可とする。この場合、用紙は上記に準じるものとする。

【絵画の部】

今年のテーマにそった、手描き作品

A2 サイズ(420mm×594mm)以下の用紙を使用(下記以外の画材は自由)

※デジタルツール(PC、液晶タブレット等)の使用不可。

コラージュアート、千切り絵(切り絵含む)、貼り絵、彫刻、版画等も対象外。

応募方法：

【作文の部・絵画の部】

最寄りの応募科学館等(別表1)まで原本を郵送してください。

作品には必ず、必要事項を記入した応募用紙を貼り付けるか ①氏名(ふりがな) ②住所(ふりがな: 応募者本人の住所を記載) ③電話番号 ④学校名(ふりがな) ⑤学年 ⑥最寄りの応募科学館名 ⑦作品への思い(100字以内)(※絵画の部のみ)、 ⑧応募者本人が手書きできない理由(※作文の部のみ) ⑨メールアドレス をご記載ください。

なお、応募作品は、応募者本人が執筆・作成した「未発表のオリジナル作品」に限ります。また、入選作品の著作権は主催者側に帰属し、応募作品の返却はいたしません。

注意事項:

- (1) 応募は、おひとりさま各部1作品とします。
- (2) 作文または絵画のみ受け付ける科学館などがありますのでご注意ください。
- (3) 第三者の著作権、商標権その他の知的財産権を侵害する作品は応募できません。
- (4) 第三者のプライバシー、名誉その他の人格的権利を侵害する内容を含む作品は応募できません。
- (5) 生成系AIなどを使用して執筆・作成した作品の応募はできません。

審査: 各応募科学館等及び「宇宙の日」作文絵画コンテスト審査委員会

賞状・副賞:

[応募科学館等により選定される賞及び副賞]

賞	部・部門	作文の部		絵画の部	
		小学生部門	中学生部門	小学生部門	中学生部門
最優秀賞	(各部門1点、計4点)	賞状・副賞			
優秀賞	(各部門2点、計8点)	賞状・副賞			
佳作	(各部門3点、計12点)	賞状・副賞			

[応募科学館等の「最優秀賞」者の中からさらに選定される賞及び副賞] ※作文・絵画から各1点

賞	部	作文の部	絵画の部
グランプリ賞	(小学生部門)	特別な体験ツアーにご招待(入賞者と保護者各1名) 日時: 令和9年1月以降(詳細は今後決定) 場所: 種子島宇宙センター※を予定 ※なお、実施が困難な場合には記念品の贈呈に代えさせていただきます。	
グランプリ賞	(中学生部門)		
【主催者賞】			
宇宙航空研究開発機構理事長賞		賞状・副賞	
日本宇宙少年団理事長賞		賞状・副賞	
【特別賞】			
審査委員長賞		賞状・副賞	
鹿児島県知事賞		賞状・副賞	
APRSAF ポスターコンテスト日本代表賞 (3点)		APRSAF-32 ポスターコンテストに日本代表として出展 賞状・副賞	

発表：各応募先により選定される賞の入選者に、各応募先より11月頃通知します。「最優秀賞」者の中から選定されるグランプリ賞・主催者賞・特別賞の受賞者及び受賞作品については、12月中旬頃にJAXA公開WEBサイトにて発表する予定です。

表彰：各応募先ごとに、小学生・中学生の各部門で、原則として「最優秀賞(1点)」、「優秀賞(2点)」及び「佳作(3点)」を選定します。受賞者には、各応募先にて表彰を行います。
※ 表彰式を行わない科学館等もありますので、詳しくは各応募先までお問い合わせください。

APRSAF ポスターコンテスト日本代表賞：

絵画の部小学生部門ではアジア・太平洋地域宇宙機関会議(APRSAF)日本代表賞(作品3点)を選定します。

本賞受賞者は(APRSAF-32)ポスターコンテストに日本代表として出展されます。本賞は、最優秀賞作品の中から、下記のAPRSAFポスターコンテストのルールやテーマに沿い、思いや考えが表現されている作品が選出されます。

APRSAF ポスターコンテストのルール

- ◇ 6歳から12歳「令和8年(2026年)12月31日時点」までの児童が一人で制作した絵画であること。
- ◇ 用紙サイズはA3(297mm*420mm)以上A2(420mm*594mm)以下であること。
- ◇ 画材は自由、ただし、写真や物を張り付けることは不可。
- ◇ 特定の個人、団体、国、ブランド名、ロゴマークなどを表すものでないこと。文字が記載されていないこと、また宗教的なテーマが描かれていないこと。(よくある事例：作者の名前、国名、国旗、スローガン、JAXA、NASAなどの宇宙機関名)

※ 詳細は下記(別紙1)及びHPをご参照ください。

<https://edu.jaxa.jp/activities/APRSAF/POSCON/>

著作権について：

1. 応募者は、応募作品について、次の条件を満たすことを確認します。
 - (1) 自ら創作した未公表のものであること
 - (2) 第三者の著作権を含む権利を侵害していないこと
2. 応募者は、応募作品について、主催者が次のとおり取扱うことを確認します。
本コンテストの運営、記録及び広報のために利用すること
3. 当選者は、当選作品について、次のとおり取扱うことを確認します。
 - (1) 著作権(著作権法第27条および第28条に規定する権利を含む)を主催者に譲渡すること
 - (2) 主催者及び主催者が指定する第三者に対して著作者人格権を行使しないこと

(別表1) 応募科学館等一覧表 ※区分にチェックがない場合、絵画・作文の両方を取り扱います

No	区分	科学館・博物館	〒	都道府県	住所	TEL
1		札幌市青少年科学館	004-0051	北海道	札幌市厚別区厚別中央1条5丁目2-20	011-892-5004
2		旭川市科学館サイパル	078-8391	北海道	旭川市宮前1条3丁目3番32号	0166-31-3186
3		あすなる会こども遊学館 (釧路市こども遊学館)	085-0017	北海道	釧路市幸町10-2	0154-32-0122
4		りくべつ宇宙地球科学館	089-4301	北海道	足寄郡陸別町宇遠別	0156-27-8100
5		厚岸町海事記念館	088-1151	北海道	厚岸郡厚岸町真栄3丁目4番地	0153-52-4040
6		帯広市児童会館	080-0846	北海道	帯広市緑ヶ丘2番地	0155-24-2434
7	絵画	余市宇宙記念館	046-0003	北海道	余市郡余市町黒川町6丁目4番地	0135-21-2200
8		八戸市視聴覚センター・児童科学館	031-0001	青森県	八戸市類家四丁目3-1	0178-45-8131
9		奥州宇宙遊学館	023-0861	岩手県	奥州市水沢星ガ丘町2番12号	0197-24-2020
10		つくばエキスポセンター	305-0031	茨城県	つくば市吾妻2-9	029-858-1100
11		向井千秋記念子ども科学館	374-0018	群馬県	館林市城町2-2	0276-75-1515
12		さいたま市青少年宇宙科学館	330-0051	埼玉県	さいたま市浦和区駒場2-3-45	048-881-1515
13	絵画	入間市児童センター	358-0001	埼玉県	入間市向陽台1丁目1-6	04-2963-9611
14		東金こども科学館	283-0801	千葉県	東金市八坂台1丁目2107番地3	0475-55-6211
15		手作り科学館 Exedra	277-0842	千葉県	柏市末広町9-6 柏嶋屋荘102	070-9222-9523
16		港区立みなと科学館	105-0001	東京都	港区虎ノ門3-6-9	03-6381-5041
17		府中市郷土の森博物館	183-0026	東京都	府中市南町6-32	042-368-7921
18		はまぎん こども宇宙科学館	235-0045	神奈川県	横浜市磯子区洋光台5-2-1	045-832-1166
19		相模原市立博物館	252-0221	神奈川県	相模原市中央区高根3-1-15	042-750-8030
20		カナコ-こども天文台	252-0328	神奈川県	相模原市南区麻溝台8-12-5カナコ-内	042-746-1221
21	絵画	新潟県立自然科学館	950-0948	新潟県	新潟市中央区女池南3-1-1	025-283-3331
22		石川県柳田星の観察館「満天星」	928-0312	石川県	鳳珠郡能登町上町口1-1	0768-76-0101
23	絵画	金沢市キゴ山ふれあい研修センター	920-1141	石川県	金沢市平等本町力13番地1	076-229-1141
24	絵画	福井県児童科学館 エンゼルランドふくい	919-0475	福井県	坂井市春江町東太郎丸3-1	0776-51-8000
25		岐阜かかみがはら航空宇宙博物館	504-0924	岐阜県	各務原市下切町5-1	058-386-8500
26	絵画	ディスカバリーパーク焼津天文科学館	425-0052	静岡県	焼津市田尻2968-1	054-625-0800
27	絵画	一宮地域文化広場	491-0002	愛知県	一宮市時之島字玉振1-1	0586-51-2180
28		綾部市天文館・パオ	623-0005	京都府	綾部市里町久田21番地の8	0773-42-8080

No	区分	科学館・博物館	〒	都道府県	住所	TEL
29		文化パルク城陽プラネタリウム	610-0121	京都府	城陽市寺田今堀 1 番地	0774-55-7667
30		橿原市立こども科学館	634-0075	奈良県	橿原市小房町 11-5	0744-29-1300
31		大阪科学技術館	550-0004	大阪府	大阪市西区靱本町 1-8-4	06-6441-0915
32		姫路科学館	671-2222	兵庫県	姫路市青山 1470-15	079-267-3001
33		明石市立天文科学館	673-0877	兵庫県	明石市人丸町 2 番 6 号	078-919-5000
34		にしわか経緯度地球科学館 「テラ・ドーム」	677-0039	兵庫県	西脇市上比延町 334-2	0795-23-2772
35		出雲科学館	693-0001	島根県	出雲市今市町 1900-2	0853-25-1500
36		メテオプラザ	690-1311	島根県	松江市美保関町七類 3246-1	0852-72-3939
37		日原天文台	699-5207	島根県	鹿足郡津和野町枕瀬 8 0 6 - 1	0856-74-1646
38		ライフパーク倉敷科学センター	712-8046	岡山県	倉敷市福田町古新田 940	086-454-0300
39	絵画	さぬきこどもの国	761-1402	香川県	高松市香南町由佐 3209	087-879-0500
40	絵画	佐賀県立宇宙科学館「ゆめぎんが」	843-0021	佐賀県	武雄市武雄町永島 16351	0954-20-1666
41		JX 金属 関崎みらい海星館	879-2201	大分県	大分市佐賀関 4057-419	097-574-0100
42	絵画	長崎市科学館	852-8035	長崎県	長崎市油木町 7-2	095-842-0505
43	絵画	宮崎科学技術館	880-0879	宮崎県	宮崎市宮崎駅東 1 丁目 2 番地 2	0985-23-2700
44		鹿児島市立科学館	890-0063	鹿児島県	鹿児島市鴨池 2 丁目 31-18	099-250-8511
45		輝北天球館	899-8511	鹿児島県	鹿屋市輝北町市成 1660-3	099-485-1900

(別紙1) : アジア・太平洋地域宇宙機関会議 (APRSAF) について

1. 名称

アジア・太平洋地域宇宙機関会議
(Asia-Pacific Regional Space Agency Forum : APRSAF)

2. 経緯

平成4年(1992年)に開催されたアジア・太平洋国際宇宙年会議 (APIC) の閉会宣言での勧告を受け、平成5年(1993年)以降、文部科学省、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 及びアジア・太平洋地域の宇宙関連機関の共催によりほぼ毎年開催。

3. 目的

アジア・太平洋地域の宇宙利用の促進を目的として、各国の宇宙活動や将来計画に関する情報交換を行うとともに、具体的な協力活動の構築に向けた議論を、宇宙機関、国際機関等をはじめ産学官から広く参加者を求めて行う。

4. 開催実績

これまでに、令和2年(2020年)のオンラインイベントを含め、32回開催。
令和8年(2026年)はタイ地理情報・宇宙技術開発機構 (GISTDA) との共催で APRSAF-32 を開催予定。

※お問い合わせ先：最寄りの応募科学館(別表1)または下記事務局にお問い合わせください。

「宇宙の日」事務局 株式会社スペースサービス内

〒305-0003 茨城県つくば市桜3-1-6

E-mail : space_day_jimukyoku@spaceservice.co.jp

(お問い合わせには、①お名前②メールアドレス③年齢④性別⑤ご職業⑥お問合せ種別⑦件名⑧内容を必ず記入願います。記入なき場合、返信できない場合がございます。予めご承知おきください。)